



「石島中学校区PTA講演会」確かな学びとなりました。

先週の日曜日の19日、「石島中学校区PTA講演会」を開催しました。大切な余暇である日曜日、そして家庭の日、午前中の開催でしたが、確かな学びとなりました。江頭先生の講演後の質疑応答でも「時間の経つのが早かった。」「子育てや地域づくりにモヤモヤ感があったが、そんなに難しく考えなくても良いのかも？とスッキリした。」「子育てに悩みがあり、どうしたら良いのか分からない。親としての在り方に矛盾や不安もある。話が聞けてよかった。」などという感想が上がりました。保護者の皆さんへの話、子育てについての話が中心でしたが、「親や家庭等を、教師や教育、学校に置き換えて捉えてもいい。」と途中何度か仰いました。「学校教育も子育てと同じことが言えるのだ！」ということだったように感じています。以下ちりばめられた言葉を載せてみます。詳しくお知りになりたいことは、参加された方々にお尋ねください。

- 習慣づくり⇒親亡き後を思うことが大切
教育の肝……どんな癖や習慣をつけていくか。
我が子が成人になるまでに、どう生きていけるか、生きていく力を付けているか。
- 教師の仕事は、裏切られることが多い仕事
- 家庭教育……ブラックボックスのようなもの（どんな教育が行われているか見えない。）
- 子供は、親の言うとおりににはならない。親のするとおりになる。
- 今ある子供の姿は、教育の結果である。
家庭教育、社会教育、生涯教育……
- 昔の人はよく言いあてているもの
子は親の背中を見て育つ、子は親を映す鏡、この親にしてこの子あり……
- 親子の「間合い」を想う
「世話の過剰」、「指示の過剰」、「授与の過剰」、「受容の過剰」
※過ぎたるは及ばざるがごとし。及ばざるは過ぎたるに勝れり。
- 保護……守ること
いつまで保護者をなさるつもりですか？我が子より長生きするつもりですか？
保護者……そもそも自立支援者
※保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校……大学生？⇒成人??
- 答えのない時代、社会を生きる大人の時間が長くなる。(人生100年時代⇒82年間)
※変化に適応、対応、創造する力を付ける。



途中、以下のような「グリム童話」を挿入されました。何をお感じになられますか？

昔、夫婦と老人と4歳になる子が、4人で住んでいました。老人は年をとって食べ物をこぼし、きたならしくよごすようになりました。そこで、夫婦は老人をテーブルではなく、ものかげで食べさせることにしました。老人は涙をため、ため息をつきましたが何も言いませんでした。老人は、ますます年をとり、手がふるえて、不自由になりました。そして、ある日、陶器の食器を落としてこわしてしまいました。夫婦は、これからもこわされてはかなわないので老人には粗末な木の皿をあてがうことにしました。

しばらくして、4歳の子が木片を刻んでいるのを夫婦はみつけました。

「坊や、何してるの？」
「木で皿をつくっているの」
「そのお皿、どうするの？」
「うん、僕が大きくなるころは、パパもママも 齢(とし)をとるだろう。そのころ、このお皿ができあがるから、これでご飯を食べさせてあげるの。」



- 6日(水) 生徒会役員選挙
- 11日(月) 専門委員会
- 14日(木) がん教育講座(2年)
- 15日(金) 大村市標準学力調査(1,2年)
- 17日(日) 家庭の日
- 18日(月) 生徒集会、表彰伝達
- 19日(火) 授業参観
- 22日(金) 2学期終業式
ワックスがけ
- 28日(木) 学校閉庁日(～1/4)



- 1日(月) 元日
- 4日(木) 学校閉庁日(12/28～)
- 8日(月) 成人の日
- 9日(火) 3学期始業式、表彰伝達
- 12日(金) 生徒会役員任命式・引き継ぎ式
- 21日(日) 家庭の日
- 22日(月) 専門委員会
- 23日(火) くしマルシェ
- 26日(金) 授業参観

